

子ども医療費助成「18歳まで以上」 自治体数、通院・入院ともに8割突破

広がる子ども医療費助成

	2012年	2023年	2024年
対象年齢が「18歳まで」以上			
・通院（外来）	75 4%	→ 1209 69%	→ 1455 84%
・入院の場合	80 5%	→ 1277 73%	→ 1505 86%
所得制限なし			
・通院（外来）	1432 74%	→ 1589 91%	→ 1645 95%
・入院の場合	1432 74%	→ 1586 91%	→ 1643 95%
<small>(2012年は通院・入院の区別無し)</small>			
一部自己負担なし			
・通院（外来）	950 55%	→ 1198 69%	→ 1266 73%
・入院の場合	950 55%	→ 1285 74%	→ 1358 78%
<small>(2012年は通院・入院の区別無し)</small>			

(上記表は保団連作成)

こども家庭庁は2024年12月25日、令和6年度「こどもに係る医療費の助成についての調査」を公表しました。<https://www.cfa.go.jp/policies/boshihoken/kodomoiryouhityousa-r6>

それによると、①子ども医療費助成の対象年齢を「18歳まで以上」で実施している市町村は、外来84%、入院86%と8割を突破。②「所得制限無し」の市町村は通院・外来とも95%に増加。③「一部負担金無し」の市町村は、外来73%、入院78%まで増加です。

この間の粘り強い運動の成果です。引き続き、都道府県・市区町村に対する「子ども医療費助成制度の拡充」を求めるとともに、国の制度として「18歳まで医療費窓口負担無料制度」の創設を求める請願署名 (<https://kodomoiryou.jimdofree.com/>) を大きく広げましょう。

2/11 (祝) 全国代表者会議を成功させよう！申し込みは1/17 (金) までに

(URL:https://docs.google.com/forms/d/1mXWQ2wPr-9--TEUrz4ElvXBk_DvzMdPjrkMZPmUGy90)